

様式第3号(第9条関係)

会議録

会議名 嵐山町立学校統合準備委員会 第7回総務部会							
開催日時	令和7年12月8日(月)		開会	午後5時00分			
			閉会	午後5時40分			
開催場所	嵐山町役場庁舎 町民ホール						
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 校章デザイン案について(報告、選考) 4 その他 5 閉会						
公開・非公開の別	公開		傍聴者数	なし			
非公開の理由 (非公開の場合)							
委員出欠状況	部会長	林 雄一	出	委員	八木原夏実 欠		
	委員	成田彩恵	出	委員	安藤淳之介 欠		
	委員	石森奈通子	出	委員	高橋 誠 出		
	委員	関根盛敏	欠	委員	高橋悠里 欠		
	委員	荒川 統	出	委員	高田 享 (代理 木村由香利) 出		
	委員	田中 守	出	委員	小野川和史 (代理 岡田至晃) 出		
教育委員会	教育長	下村 治		学校統合推進 課長	久保哲也		

	学校統合推進課 副課長	尾針雄介 (司会・進行)	学校統合推進課 主任	吉野祐介
	教育総務課 指導主事	吉井大輔	教育総務課 指導主事	神田貴裕
次 第	て ん 末			
1 開 会	教委 (司会)	開会宣言		
2 あいさつ	林部会長	寒気が急にやってきて、短い秋だったと感じています。嵐山町と近隣市町村においてインフルエンザが流行し始めています。体調管理をしつかり行い、健康には十分ご留意ください。		
3 議題		林部会長が議長となり、議事を進行		
(1) 校章について	教委	・校章デザイン案の募集結果報告と今後の流れについて説明(【資料 1-1~4】) ・対面選考に係る注意事項の説明と、第 6 回総務部会で意見のあった、五三桐のモチーフについて意見交換を行うよう依頼		
	林部会長	説明が終わりました。まず、今後の流れについて、何か質問等はありますか。		
	荒川委員	【資料 1-2】の「4. デザイン補正、法的確認作業」の中で、「必要に応じてアンケート対象の図案を生成 AI でデザイン補正し」とありますが、これは、手書きの図案がアンケート対象になった際に実施するものですか。		
	教委	ご質問のとおりです。		
	林部会長	それでは次に、【資料 1-5】について、注意事項等に留意しながらご意見をお願いします。		
	教育長	校章が使われる場所、場面も一緒に考えるとイメージしやすいと思います。新校で校章がどのように使用されるかは未定ですが、現在は、卒業証書の透かし、体育館、校旗、学生服などで使われています。 また、嵐山町の花はつつじ、町の木は梅と定められていますが、ラベンダーは、千年の苑ラベンダー園で栽培されているだけで、町との関わり方に根拠がなく普遍的ではありません。		
	荒川委員	オオムラサキも「町のシンボル」と表現されますが、条例等で定めてはいないと認識しています。		

	田中委員	募集要項のデザイン要件から逸脱した図案は削除してあるのですか。
	教委	デザイン要件から逸脱した図案はなかったと認識していますので、教委の判断で削除した図案はありません。
	田中委員	デザイン要件から逸脱した図案がないのであれば、応募図案すべてを対象にするのがよろしいのではないでしょうか。そもそも疑問が残る図案がないのに対面で協議する必要があったのでしょうか。
	教委	デザイン要件から逸脱した図案はありませんでした。しかし、デザイン要件の中の「(10)令和 10 年度まで嵐山町内に現存する学校の校章をそのまま使用しないでください」の部分に、例えば、大部分が既存の校章デザインである図案が該当するかどうかの協議をいただく意味はあるかと考えます。協議する上で、第 6 回総務部会で意見のあった五三桐のモチーフはその中でも目を引く存在ではないかと考えます。
	林部会長	大部分が五三桐をモチーフにした図案は実際にありましたか。
	教委	該当する図案は確認できませんでした。 尚、五三桐をモチーフにした図案は 6 案確認しています。
	林部会長	これら 6 案の扱い方について、ご意見をお願いします。
	荒川委員	学校統廃合に伴う新校の校章として、現・菅谷小学校、現・菅谷中学校の校章である五三桐を使用することを気にする方もいるかと思います。 但し、五三桐が「菅谷」を象徴しているわけではなく、畠山重忠公に由来しているものなので、選考の際は他の図案と平等に扱うのが良いのではないかと考えます。
	田中委員	現・菅谷小学校と現・菅谷中学校の校章と良く似ているのは、7 頁 No.28 くらいだと思います。
	荒川委員	そもそも、五三桐は、本来天皇家の家紋である「五七桐」に由来するものと認識しています。 7 頁 No.28 もよく似ていますが、27 頁 No.106、107 も図案上部に五三桐がそのままデザインされています。最終的にこれらのいずれかが選ばれても、それは結果として構わないと思います。 一方、6 頁 No.24、12 頁 No.48、13 頁 No.49 のように五三桐をイメージしてマイルドに表現した図案の方が間違いないと思います。

	林部会長	特に反対意見もないようなので、五三桐をモチーフにしている図案は全て選考対象としたいと思います。それでは、これらの図案を各自お持ち帰りいただき、web選考にて回答をお願いします。
	荒川委員	web選考の回答期限を過ぎても未回答の委員には連絡をし、回答対象者全員から回答をいただく方が選考の意味があると思います。
	教委	それでは、12月15日の段階で未回答の方に電子メールか電話かのいずれかで一報を入れさせていただきます。
4 その他		なし
5 閉会	教委	

以上、会議のてん末を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和7年12月23日

部会長 林 雄一

嵐山町立学校統合準備委員会 第7回総務部会 会議次第

日時 令和7年12月8日(月)17時から
場所 嵐山町役場庁舎 町民ホール

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 校章デザイン案について(報告、選考)

4 その他

5 閉会

資料1-1

校章デザイン案公募結果報告書

下記のとおり実施致しましたので報告いたします。

記

1. 公募期間 令和7年10月1日(水)~11月24日(月・振休)
2. 応募図案数 132案(小学校図案と中学校図案のセットで1案)
3. 応募者数 99名
4. 応募者内訳

● 嵐山町内	11名	(15案)
● 埼玉県内(嵐山町除く)	8名	(12案)
● 埼玉県外	80名	(105案)
合計	99名	(132案)
5. 今後の流れ 別紙資料1-2 別紙1-3のとおり
6. 応募図案 別紙資料1-5のとおり

校章デザイン選定までの今後の流れ

1. 総務部会対面選考【12月8日(月)】

応募された図案について、意見交換を行う。

【意見交換の際の注意点】

- (1) 公平性を保つため、応募者の個人情報は選考の場では公表しません。
- (2) 応募者の意向を最大限尊重するため、応募図案に手を加えることはしません。また、図案作者に図案の修正を依頼することもしません。
- (3) 主に選考対象から除外すべき図案をご協議ください。
- (4) 特定の図案に誘導するような発言は控えてください。
- (5) 対面選考において満場一致でアンケート調査の対象図案を選定できた場合、1回目、2回目の web 投票は実施しません。

2. 総務部会一次 web 投票選考【12月8日(月)~14日(日)】※資料 1-3 参照

選考対象の図案の中で特に校章としてふさわしいと思う図案を、委員 1 人につき 5 案を上限に web にて投票する。投票結果を基に、web 投票(2 回目)の対象図案を 10 案程度に絞り込む。絞り込む基準は投票結果により教育委員会学校統合推進課内で判断する。

3. 総務部会二次 web 投票【12月22日(月)~令和8年1月4日(日)】

選考対象の図案の中で特に校章としてふさわしいと思う図案を、委員 1 人につき 2 案を上限に web にて投票する。投票結果を基に、アンケート調査の対象図案を 5 案程度に絞り込む。絞り込む基準は投票結果により教育委員会学校統合推進課内で判断する。

4. デザイン補正、法的確認作業【1月5日(月)~9日(金)】

必要に応じてアンケート対象の図案を生成 AI でデザイン補正し、Toreru 商標検索(<https://search.toreru.jp/>)で商標権等を確認する。

※応募図案の権利に関する考察は別紙資料 1-4 参照

5. アンケート調査【1月26日(月)~2月15日(日)】

嵐山町内在住者と嵐山町内教育機関等職員を対象に、校章としてふさわしいと思う図案を 1 人につき 1 点(小学校図案と中学校図案のセット)回答する。

6. 総務部会協議、デザイン候補選定【2月24日(火)~27日(金)のうち1日】

アンケート結果を基に対面協議し、第 1 候補から第 3 候補までを選定する。

【注意】小中学生の保護者や学校教職員などから、アンケート結果が町民等の声として反映されているのかどうか疑問視する声も上がっているので、アンケート結果を尊重し協議してください。

7. 統合準備委員会協議・承認【6.と同日】

6.で選定した校章候補を協議、承認する

8. デザイン補正【3月2日(月)~18日(水)】※手書きの図案を採用する場合

7.で承認を受けた図案を業者に委託してデザイン補正(トレース)を行う。

9. 教育委員会へ上申【3月19日(木)~31日(火)のどこかのタイミング】

(統合準備委員会としてはここまで)

(新校)嵐山町立武藏嵐山小学校・武藏嵐山中学校

校章デザイン案 web 選考

【第 1 次選考】

選考(回答)日時

令和 7 年 12 月 8 日(月)総務部会後～12 月 14 日(日)

※選考(回答)日時を過ぎて回答が無い場合でも回答の催促はしません

選考対象者

嵐山町立学校統合準備委員会 総務部会委員

選考方法

校章デザイン案応募一覧(別紙資料 1-5)から新校校章としてふさわしいと思う図案を5 案以内(Google 推奨数)で選び、下記回答フォームから数字でご回答ください。
※校章としてふさわしいと思う順番でご回答ください

【回答フォーム】<https://forms.gle/Wvweibg4f7whdh2E8>



回答フォーム

【嵐山町立学校統合準備委員会】

埼玉県比企郡嵐山町大字杉山 1030 番地 1

嵐山町役場庁舎 嵐山町教育委員会学校統合推進内

TEL 0493(62)6590(直)

FAX 0493(62)0715

e-mail saihen@town.ranzan.saitama.jp

応募図案の権利に関する考察

●著作権

著作権は、創作した時点で自動的に発生するため、届出や登録は原則不要です。ただし、著作権が移転した場合などに取引の安全を確保するため、文化庁に登録できる制度があります。この登録制度は、実名の登録や著作物の第一発行年月日等の登録、プログラムの著作権に関する創作年月日の登録などがあります。

○著作権登録の必要性

不要なケース:著作権を取得すること自体に、届出や登録は必要ありません。

登録が有効なケース:

- ・著作権が譲渡された場合、権利を移された者(譲受人)が第三者に対して権利を主張するために登録が有効です。
- ・著作者の実名が不明な著作物について、著作者であることを推定してもらうために登録できます。
- ・著作物が最初に公表された年月日を明確にするために登録できます。(Google AI より)

○著作権登録制度

日本の著作権登録制度は、特許権などの産業財産権とは異なり、権利の発生要件ではありません。著作権は、著作物が創作された時点で自動的に発生します(無方式主義)。しかし、登録をすることで、取引の安全を確保したり、事実関係の証明を容易にしたりする効果があります。(Google AI より)

2025 年 10 月時点で校章を著作権登録しているのは、全国で東京都北区の小学校 4 校のみ(学校統合推進課調べ)

●商標登録

- ・商標登録とは、商品やサービスの目印となる「商標」を特許庁に登録し、その商標を独占的に使用できる「商標権」を取得する手続きです。これにより、他社による不正使用や模倣を防ぎ、自社のブランドを守り、信用を高めることができます。登録後は、類似の商標を同一・類似の商品やサービスに使用する第三者に対し、差止め請求や損害賠償請求などの法的措置を取ることが可能になります。(Google AI より)
- ・登録商標は WEB ツール「Toreru 商標検索」で調査することができます。併せて Google 画像検索でもダブルチェックすることができます。

⇒他人の商標権の発生を確認する商標調査とは違い、他人の著作権の発生を調査することは事实上不可能、と言わざるを得ません。

(紫苑商標特許事務所 WEB サイトより)

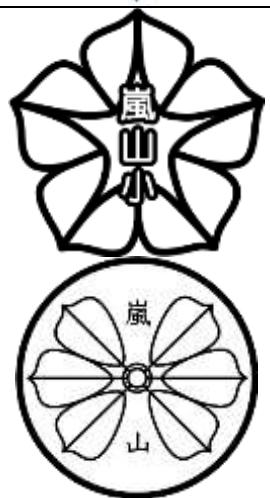
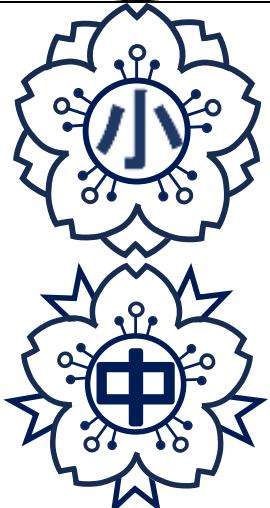
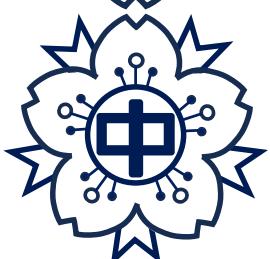
嵐山町立武蔵嵐山小学校・武蔵嵐山中学校 校章デザイン案応募一覧

No.	図案(上: 小学校、下: 中学校)	図案説明
1		<p>【小学校】町花「つつじ」に「鳥」・小学校の「小」を基本に、「未来に向かって飛翔・羽ばたく翼」「健やかな嵐山っ子(児童)」・夢や希望に向かって生き生きと羽ばたくこども(児童)の姿にイメージを重ねデザイン。また、色彩は「豊かな自然環境」を表しています。</p> <p>【中学校】Ranzan の「R」に「鳥」・中学校の「中」を基本に、「未来に向かって羽ばたく生徒の姿」をイメージし、全体のフォルムで「高い知性・豊かな感情・強い意志」「豊かさと優しさ」を育てながら未来に羽ばたく生徒の姿を表すとともに、無限の広がりをデザイン。</p>
2		町名の嵐のごとく、台風の目をイメージした図形です。小学 6 年間では六角・中学 3 年間では三角に丸みを付けて人の為に役立つ知識が満杯になる事を意味し、誰でも認識できる様にシンプルに図案化しました。
3		校名の始まりの「む」を豊かな緑、川の水や空気の流れで表現し、最後の点を太陽と子どもの顔に見立てる。「む・RANZAN」に「小」と「中」を配し、モダンな同一意匠での一体感を創出し、家紋的な意匠を脱却した。全く違うデザインよりも 2 校のつながりが、より深く感じられるよう意図した。シンプルにより「む・小」「む・中」が両校のシンボルとして輝きを放つことを心から願う。
4		美しい自然に囲まれた環境で、真っ直ぐに学ぶ生徒達を『武蔵嵐山』の文字を使用して、デザインを仕上げました。小学校 6 年・中学校 3 年を破線を含めた 9 本の罫線で表現しております。全体の色使いは、緑と水と暖かさと優しさを感じさせる色調にまとめました。

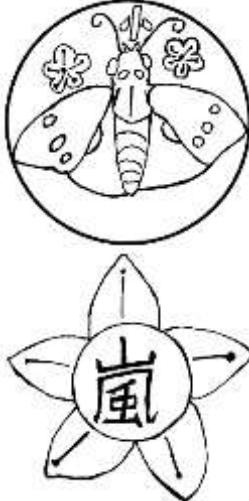
5		<p>嵐山町の木「梅」の花をモチーフにして小学校は若葉色・中学校は実り色に区別し15年、楽しかった学校生活の学びを意味し誰でも認識できる様にシンプルに図案化しました。</p>
6		<ul style="list-style-type: none"> ●小学校 学校を表す文を使い小の字と武藏嵐山を入れました。 ●中学校 学校を表す文を使い武藏嵐山を入れ、中学校の中を入れ表しています。
7		<ul style="list-style-type: none"> ●小学校 嵐山と小を文字を丸の中に入れました。 ●中学校 武藏嵐山と中で形を表しています。
8		<p>未来に向けて生徒の皆さんのが、羽ばたく様子を表現しました。 嵐山の読み方を英文で表記しました。</p>

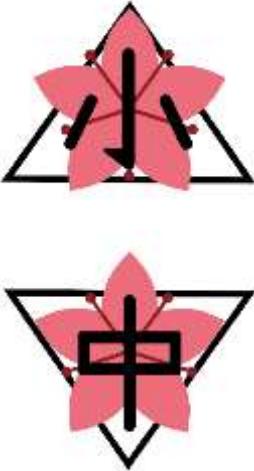
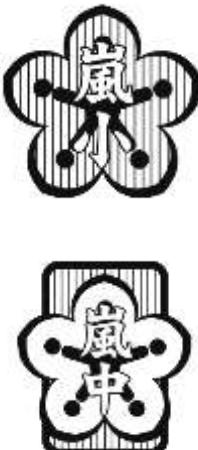
9		一つの丸(輪)を併合される小学校3校、中学校2校を3重、2重で表し、小学校は「梅」中学校は「ツツジ」嵐山町の町木、町花の花をモチーフに表現しました。 併合後も生徒の皆さんのがひとつにまとまって、花がいっぱい咲きますように。
10		武蔵嵐山小学校と武蔵嵐山中学校は「小」・「中」と読みを変えることでデザインを変えました。 小学校を六つ、中学生を三つの野で描き、各々学ぶ年、嵐山渓谷の岩畳・清流・自然あふれる景観をイメージ、そして「嵐」の文字を彷彿、また大地に佇む児童・生徒と見立て嵐山町を愛する姿を表わしてあります。
11		自然が多い嵐山を葉でハート型にデザインしました。 子供が未来に翔く姿を羽で表現しています。
12		嵐山町のおおむらさきをモチーフにしました。

13		<p>自然の多い嵐山町をハート型の葉で表現しました。 中学校は実をつけることにより成長を意味しています。</p>
14		<p>町のシンボルである国蝶のオオムラサキを中心にデザインしました。 嵐山の文字はひとかたまりになるようにデザインしました。 小学校中学校ともに同一のデザインとし、両校の統一性を持たせました。</p>
15		<p>三角形と逆三角形でそれぞれ「小」「中」という漢字のシルエットを表現している。また、中央には「嵐山」のイニシャルである「R」を配置し、この部分単体でも小中学校の見分けがつくように、左部分を反転させた。配色については、紫はラベンダーとオオムラサキを、緑と赤は嵐山渓谷の木々とその紅葉した様子を意味する。嵐山渓谷の美しい自然と、小学生から中学生へと成長してゆく時間の経過を表現した。</p>
16		<p>嵐山町は宝と言うべき昆虫が数多く生息している。なかでも蝶々のオオムラサキと蜻蛉のアオサナエは希少性が高い。ここに着目し、町ならではの象徴として校章のモチーフにすべきと考えた。オオムラサキの胴体と模様の中に「小」をアオサナエが翅を広げた姿を「中」に見立てた図案をデザインした。児童生徒と学校の飛躍をイメージできるシンプルで誰にでもすぐに分かる校章である。</p>

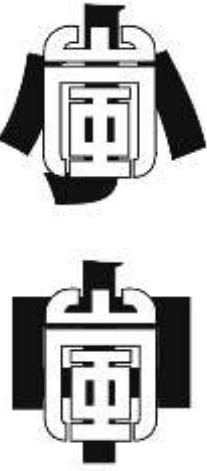
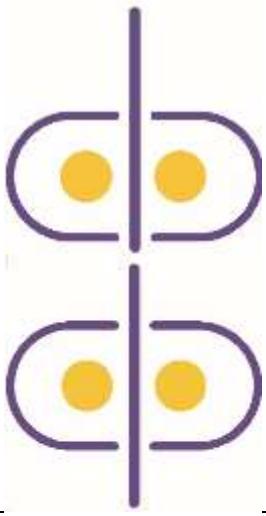
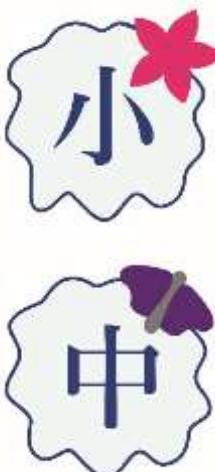
17		<p>【小学校】オオムラサキと嵐山渓谷をイメージしたデザインを考えてみました。豊かな自然に囲まれた小学校で子供達にはのびのびと学んでほしいと願いをこめています。</p> <p>【中学校】横から見たオオムラサキと風を組み合わせてみました。どんな風を受けても自分で決めた道に向って進んで行ってほしいという思いを込めています。</p>
18	 	<p>嵐山町の太平山をイメージして描きました。嵐山町の美しい自然を生徒一人一人がいつまでも、心に刻んでほしい想いを込めました。嵐山町での四季折々の様に雄大な精神を育む、助け合い、笑い合う、この町を支える人間を描きました。全体的に見た時に、「武藏」と嵐山町の「ら」に見えるデザインにし、小学校も中学校のどちらも大きく拡がって行く姿にしました。</p>
19		<p>嵐山町のシンボルであるツツジをモチーフにデザインしました。小学校の校章は、丸みのあるフォルムで、元気にのびのびと成長できるようなイメージを込めました。中学校の校章は、小学校より大人びて、学力の育成や豊かな心と健やかな体の育成をイメージできるように、線も細めなシックなデザインにしました。</p>
20	 	<p>武蔵嵐山小学校の校章は桜の花びらを二重にした形としました。中心の丸の中に「小」の字を入れました。</p> <p>武蔵嵐山中学校の校章は、桜の花の後に未来に向かって放たれる光をかたどったものを配置しました。中心の丸の中に「中」の字を入れました。</p>

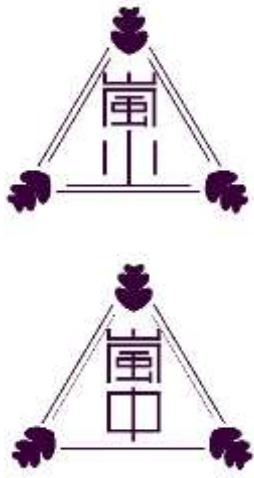
21	 	<p>嵐山(RANZAN)の頭文字「R」をデザイン化しました。 小学校、中学校はRを構成する線の数で2本線、3本線と描いています。 スッキリとわかりやすいデザインとしました。</p>
22	 	<p>武藏嵐山小学校・中学校両校の頭文字「MR」と町の花「つつじ」をモチーフに、心豊かな自然に抱かれた小・中学校周辺と両校「小・中」の文字を表し、温かい愛情に包まれ、児童・生徒の将来への大きな“夢や希望”を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「武藏嵐山小学校」と「武藏嵐山中学校」の輝かしい姿を力強くアピールしています。</p>
23	 	<p>武藏嵐山小学校・中学校両校の頭文字「MR(飛鳥)」と町の花「つつじ」をモチーフに、心豊かな自然に抱かれた学校周辺と中に「小・中」の文字を表し、温かい愛情に包まれ、児童・生徒の将来への大きな“夢や希望”を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「武藏嵐山小学校」・「武藏嵐山中学校」両校の輝かしい姿をアピールしています。</p>
24	 	<p>【小学校】嵐山町ゆかりの畠山重忠の家紋の「桐」の花びら及び葉をモチーフに、「桐」のもつ、高貴で偉大、重忠の誠実で思いやりの人柄をイメージし、表現しました。また、「小」文字部分にの嵐山町のシンボル・オオムラサキのイラストを合わせて図案化しました。3枚葉で「3校統合」を、また「小」周りの「輪」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。【中学校】嵐山町ゆかりの畠山重忠の家紋の「桐」の花びらをモチーフに、「桐」のもつ、高貴で偉大、重忠の誠実誠実で思いやりの人柄をイメージし、表現しました。また「中」文字部分にの嵐山町のシンボルのオオムラサキのイラストを合わせて図案化しました。5裂平開きの花冠は、5校の「小中一貫教育」を、また「中」周りの「輪」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。</p>

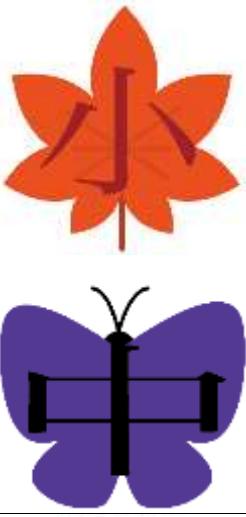
25		<p>【小学校】嵐山町のシンボル「国蝶・オオムラサキ」と嵐山の「嵐」の文字をモチーフに図案化しました。オオムラサキの力強く、雄大に飛び廻る姿と子供達が夢と志を持ち可能性にトライしながら、たくましく成長していく姿をイメージして、表現しました。また周りの「リング」で、「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。</p> <p>【中学校】嵐山町のシンボル「国蝶・オオムラサキ」と嵐山の「嵐」の文字をモチーフに図案化しました。オオムラサキの力強く、雄大に飛び廻る姿と子供達が夢と志を持ち可能性にトライしながら、たくましく成長していく姿をイメージし、蝶の「し脈」とよばれる筋状のものでより「力強い姿」を、また周りの「リング」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。</p>
26		<p>嵐山町について調べたところ、国蝶のオオムラサキが生息するとのことで、小学生の子どもが親しみやすい蝶をメインにデザインしました。</p> <p>また、嵐山町の木が梅なので、中学は梅の花に分かりやすく「嵐」の字を入れました。</p>
27		<p>オオムラサキをモチーフに、よりシンプルに、より分かりやすくなるように考えデザインしました。「蝶の形」と「武藏嵐山○」まで一緒にすることにより、小学校、中学校が一体となった9年制となるイメージで、卒業しても「校章が蝶のマークだったよね!」と印象付けられるようにしました。白黒ベースでも良いですが、オオムラサキのような紫色がイメージカラーです。</p>
28		<p>嵐山町の偉人「畠山重忠」ゆかりの「五三の桐」は伝統と格式の証です。この古き伝統と新しい英語のロゴを組み合わせた校章デザインとしました。ここには郷土を愛する気持ちと世界へ羽ばたいてほしい願いを込めました。周囲の円は、小学校が3本、これは3つの小学校が集まって和(輪)をなしたもの、中学校は2つの中学校が集まって和(輪)をなすことを表しています。</p>

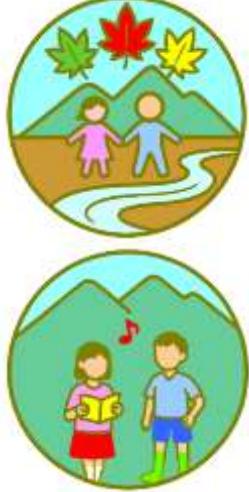
29		<p>リング=輪=和。小学校と中学校を英語表記にすることでグローバル社会で活躍する人になってほしいという願いを込めました。リングの中は五三桐のモチーフを人・ペン、そして、嵐山町の木、梅に変えて表現しました。【小学校】3つの小学校の子供達が手をつなぎ1つの新しい学校で将来にむけて大きく成長してほしい。【中学校】ペンは学びの尊さを表現するシンボルでもあり、玉ノ岡中の校章にも表現されていたシンボルを使用しました。ペンが扇状に配置しているのも、広く知識を得てほしいという意味も込めました。色は嵐山町のラベンダー園 ラベンダーの色、嵐山町の木 梅の色、嵐山町の花ツツジの色で表現しました。</p>
30		<p>嵐山町のシンボルであるツツジの花をモチーフにしました。ツツジには「慎み」や「節度」「節制」「自制心」「努力」「訓練」といった意味があり、左右非対称にすることで力強さを表現しています。また三角形には力や繁栄、成功、調和という意味があります。中学校と小学校で三角形の向きを変えることでストーリー性を持たせました。</p>
31		<p>町の花であるツツジをモチーフに学びあを堅持したイメージでデザイン化しました。</p>
32		<p>すくすく育つ子供達の姿を植物に、学びを深めてひらめきを得る瞬間を電球に見立てて制作した。小学校の方は子供達を双葉に例え、中学校の方は双葉が成長した姿として表現した。また、各校章が見分けやすいよう小・中学校の英語表記の頭文字をデザインに組み込んだ。加えて、嵐山町はラベンダー園に力を入れていることから、配色は紫と緑を使用して制作した。</p>

33	 	<p>フレームは、ラベンダーと絆や繋がりを意識した鎖型、色は紫色にしました。嵐小、嵐中の周りには、国蝶オオムラサキを想像させるマークを入れました。小学校はこれから花開いて欲しい、中学校はこれから羽ばたいて欲しいという願いを込めて作成しました。</p>
34		<p>四つ角の花は嵐山町を象徴するラベンダーの葉っぱ。ダイヤの形の意味は、宝石のダイヤモンドが持つ永遠性や輝きから、愛情や結びつきの象徴として使われていることから、嵐山町の絆や結びつきを今後も増やしていきたいという意味。</p>
35	 	<p>嵐山町といえば『オオムラサキ』というイメージが強いため『オオムラサキ』をメインに嵐山町の学生たちが元気に大きく、世界へ強く羽ばたいていって欲しい、という気持ちをデザインしてみました。小学校校章は羽化して間もない羽ばたく前をイメージし、中学校校章は全身を大きく広げ『これから飛び立つ』というイメージです。更に、成長と共に、羽の模様の丸をひとつ増やすことで嵐山町で有名な『畠山重忠』の家紋である『小紋村濃』の特徴的な丸の並びにも見えるかと思います。校章という古いイメージがありますが、再編され新しい学校という事で、嵐山町の特色を残しつつ今までにない斬新なデザインが出来たと思います。</p>
36	 	<p>「嵐」の文字をデザイン化しています。 どんな嵐が吹いても果敢に立ち向かえる精神を養って！がコンセプトです。</p>

37		<p>「嵐」の文字をデザイン化しています。 どんな嵐が吹いても果敢に立ち向かえる精神を養って！がコンセプトです。</p>
38		<p>武藏という単語から着想を得て、武士が着ていた家紋が刻まれた着物である紋付をモチーフにして二つの正円を採用しました。配色は嵐山町を象徴する豊かなラベンダー畑を想起させるような品のある紫を使い、家紋を象徴する正円は紫を引き立てるとともに厳かに光り輝くような黄色を使いました。視認性を高めるためにデザインはシンプルでありながらも、毅然とした教育機関に相応しい芯の強さを持たせました。</p>
39		<p>嵐山町の豊かな自然を象徴する「渓谷」をモチーフに、小学校と中学校を一体的に表現しました。 小学校は丸型と青空の青で、明るく伸びやかな成長を。中学校は五角形と夕焼けの橙で、力強く自立へ向かう姿を現しています。 形と色の変化で学びの繋がりと成長の歩みを込めました。</p>
40		<p>この校章は、小学校の方がつつじをイメージしており、周りの枠を川に見立てており自然を表しております。 中学校の方がオオムラサキを表しております。周りの枠を川に見立てております。二つ合わせると自然と川という共通点があります。 色も少なめにしました。</p>

41		<p>小学校、中学校ともに嵐山町で有名な花ラベンダーをモチーフに制作しました。</p> <p>「小」「中」の真ん中の縦棒をラベンダーに変えることで嵐山町らしさを出しつつ落ち着いた雰囲気の校章デザインにしました。「小」「中」を囲んでいる八角形は、日本では「八」が「末広がり」らゆる方向からの良い運気を呼び込むとされているので縁起がいいと思い文字を囲むように八角形を使いました。</p>
42		<p>嵐山の小学校、中学校であることがわかるように「嵐」と「小」、「中」の文字を入れた。また、ラベンダー畑が有名なのでラベンダーを入れ、嵐山町が持つ自然の特徴である渓谷、ラベンダー畑、川の3要素をラベンダーの花びらの枚数で表した。そして、三角形で山を、二十線で川を表した。</p>
43		<p>嵐山小学校と嵐山中学校にどちらも真ん中に嵐山の文字を入れました。文字が緑色の理は芽吹き、成長など学生達が日々成長する姿や未来への希望を表す色です。そして周りの花びらは嵐山市の象徴であるラベンダーを意識しました。形は丸を意識し、ボタンにも使いやすいと思いました。</p>
44		<p>この校章デザインは、嵐山町の象徴である国蝶「オオムラサキ」と、町を流れる都幾川・楓川の清流をテーマにしています。小学校の図案は、オオムラサキのさなぎをモチーフにしました。これから羽化する前の静かな力強さを表現。学びの基礎を築く小学生の姿を重ねています。中学校の図案は、美しい羽を大きく広げた成虫のオオムラサキを表しました。小学校時代を経て、より大きく、より美しく羽ばたく中学生の成長をイメージしています。両図案は紫色を基調としました。オオムラサキの青紫の美しさや力強さを表現し、古くから伝わる紫という色を通して伝統と革新が調和する新しい学校の姿を表しています。2つの図案は形態の変化によって成長を表しながら、同じ色彩と構成要素によって統一性を保っています。子どもたちが小学校から中学校へと進学する際に、「次はあの美しい羽を広げられる」という希望と誇りを持てるデザインを目指しました。</p>

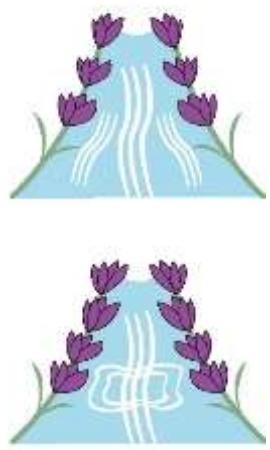
45		<p>〈武蔵嵐山小学校〉嵐山の自然を象徴する「紅葉」をモチーフに、地域に根ざした学校を表現しました。中央の「小」の字は力強く配置し、児童の健やかな成長と学びの基礎を築く姿を象徴しています。温かみのある赤色は、元気と情熱をイメージしています。</p> <p>〈武蔵嵐山中学校〉「蝶」をモチーフに、羽ばたくように未来へと成長していく生徒の姿を表現しました。中央の「中」の字を羽に重ねることで、学びと個性の調和を表しています。落ち着いた青紫色は、知性・品格・自立をイメージしています。</p>
46		<p>嵐山町の豊かな自然と穏やかな風景をテーマにデザインしました。町の象徴であるラベンダーをモチーフに、全体にラベンダー色を用い、その他の色は町を囲む山々の緑を使用し、優しい雰囲気を表現しました。</p> <p>また、校章の丸い形は、自然の柔らかさ、学校での学びを通して大きな輪を広げてくことを意味しています。</p>
47		<p>●構成要素について 現行の3つの小学校と2つの中学校、それぞれのロゴには、これまでの歩みや象徴、そして地域への想いなど、さまざまな意味が込められています。長い年月の中で多くの子どもたちに親しまれてきたそのシンボルを大切に、誰もがいつまでも母校を想い続けられるよう、各校のロゴから一つずつ要素を受け継ぎ、ここから新たな歴史がはじまる事を表現しました。志賀小からは「桜の葉」、七郷小からは「ダイヤ」のモチーフ、菅谷小・菅谷中からは「柏の葉」、玉ノ岡中からは「勾玉」を取り入れています。</p> <p>●文字について 書体は、いくつかの学校で使用されていた「てん書体」をもとに、全体がやわらかく、親しみやすい印象となるよう調整を加えました。「嵐小・嵐中」という新たな呼称が地域に根づき、長く愛されていくことへの願いを込めています。</p>
48		<p>親しみのある桐の「葉」を背景に、小学校には都幾川桜堤の「桜」、中学校には嵐山町の木「梅」を配したデザイン。桐の葉3枚は生きる力「智・徳・体」を育む願いであり、花の数は小学校3校、中学校2校の統合を意味します。それぞれのカラー配色は、新設校にふさわしく明るく元気な色を選択。</p>

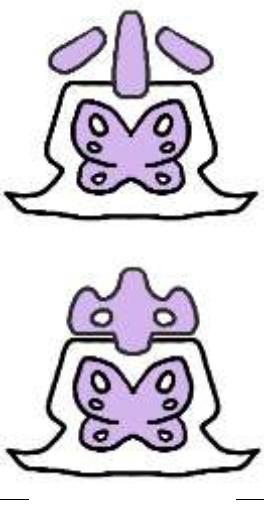
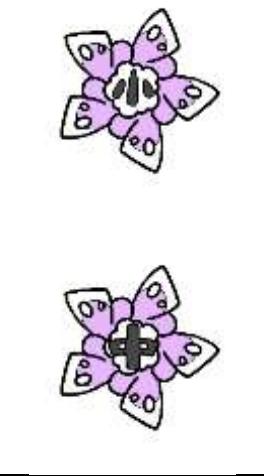
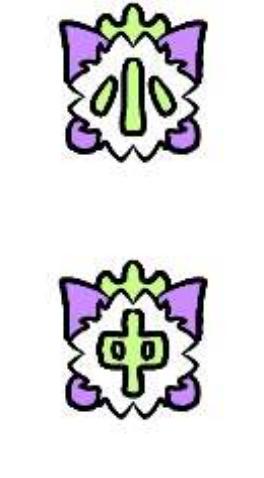
49		<p>新校が設置される場所にある菅谷小学校と菅谷中学校の校章に使われている「桐」をベースに、小学校には都幾川桜堤の「桜」、中学校には嵐山町の木「梅」を配置。ラベンダーは未来への希望に由来する「期待」を表す花言葉から、生徒の健やかな成長への願いを込めて配しています。クロスするラベンダーは「共創」を意味し、1本に9個ある花は、小・中学校合わせて9年間の子どもたちの成長、学びのつながりを表現しています。</p>
50		<p>嵐山町の頭文字イニシャル「R」をモチーフに、小学校は3校、中学校は2校を統合する意味のラインを合わせています。6角形は6学年の小学校を、9角形は中学校までの9年間の義務教育を表現。中学校は英語訳で junior high school の「J」を標記し、小学校は明るく元気なカラーで、中学校は落ち着いたカラーで彩色しています。上方に向かうラインは「生きる力」をはぐくむ願いであり、星は「希望」を表現しています。</p>
51		<p>両校の校章を葉をシンボルにして、小学校の方は「自然・優しさ・芽生え」を意識して、中央には嵐小と入れて制作致しました。 中学校の方は「知性・飛翔・成長」を意識して、嵐小と同じ様に中央には嵐中と入れて制作致しました。</p>
52		<p>丸い枠の中に、武蔵嵐山の自然と子どもたちの姿をまとめた図案です。武蔵嵐山のなだらかな山なみを表現しました。上部の三枚のもみじは、色づきの違う葉を並べることで、「一人ひとり違う個性が、同じ空の下で輝いている様子」と、「季節の移ろいの美しさ」を象徴しました。三枚という数には「知・徳・体」の三つの柱をイメージしました</p>

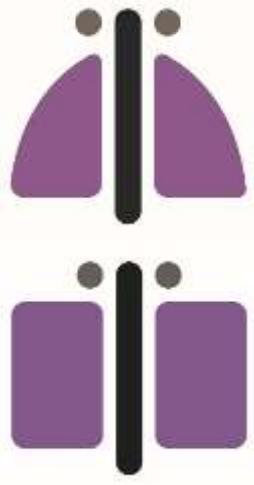
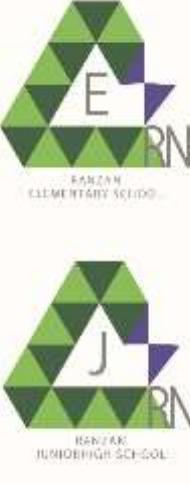
53		<p>学校名の「武」「嵐」と町の花「ツツジ」をモチーフにしてシンプルにシンボライズ。小学校は緑色、中学校は紺色に色分けしました。</p>
54		<p>まず、小学校・中学校に共通して取り入れたモチーフは「オオムラサキ」です。嵐山町には歴史・自然・文化など多くの象徴がありますが、子どもたちの記憶に残り、生涯寄り添う校章を考えたとき、地域を代表する「オオムラサキ」を選びました。それぞれの校章は片側の羽だけをデザインしており、小学校・中学校の校章を合わせると、一羽の大きく羽ばたくオオムラサキが完成します。武蔵嵐山小学校・中学校を経て未来へ大きく羽ばたいていってほしいという願いと、地域と学校がともに歩む姿を表現しています。また、学校名「武蔵嵐山」は画数が多く、校章に入れると刺繡や印刷の際に潰れてしまう可能性があったため、頭文字である「M」をモチーフとしてデザインしました。この「M」には、嵐山町の象徴である山並みのイメージも重ねています。小学校の校章は若葉や淡い緑を基調に、柔らかく上へ伸びるカーブで「学びのスタート」や「これから成長」を表現しました。「M」の形も、やさしさや温かさを感じられるよう意識して制作しています。中学校の校章は青～紫を基調とし、小学校よりも力強く、未来に向かって進んでいく姿勢をイメージしています。「M」は光へ向かうような伸びやかさを持たせ、自立や意志の強さを表現しました。</p>
55		<p>上部に記載の図案が中学校、下部が小学校です。小学校、中学校共に嵐山町の町章と嵐山渓谷を模した川の図案を用いました。この図案には嵐山町で唯一の小学校中学校となる武蔵嵐山小学校、中学校が嵐山町の象徴になるようにという思いを込めました。そして、中学校、小学校で下地の色を変えた理由も説明します。まず、小学校をオレンジ色にした理由です。このオレンジ色は嵐山渓谷の紅葉の景色をもっていますが、それだけでなく、オレンジ色は明るくて元気でたくましい感じのする色なので、小学生たちが明るくて元気でたくましく居てくれたらなという思いを込めています。対して中学生は小学生より1歩大人になっていくと思うので、オレンジ色よりも落ち着きのある緑色を用いました。また、この緑色は夏の嵐山渓谷を模しているのですが、見た目は大人になって落ち着きでのてきた中学生も中身は暑い夏のように、熱い思いを持っていてほしいなと言う思いを込めました。</p>
56		<p>全体の大きな星型は子供たちの未来を表しています。それぞれの方向性を6つの放射状の線で表しています。中央の小さな3つの星は、3つの小学校の歴史を表しています。中学校は、翼によりさらに大きく羽ばたいていく、生徒たちを表しています。中央の星は、学生生活が輝かしいものを表しています。</p>

57		円形から小さな円形がそれぞれの方向へ向かうことにより学校教育の多様な方向性を表しています。中学校名を表示し新たな中学校のスタートを表しています。星型(横長)と円形を二重にすることにより従来の2校の歴史を表しています。
58		学校名の「武」「嵐」と町の花「ツツジ」をモチーフにしてシンプルにシンボライズ。小学校は緑色、中学校は紺色に色分けしました。
59		モチーフとしたツツジは町の花を表すとともに、それぞれ統合する小学校の3校、中学の2校を意味しています。また両サイドの上昇する清流は名前の由来となった嵐山渓谷(京都嵐山)を象徴し、将来にむけ飛躍する生徒の姿を表しそれぞれ統合する3校、2校お互いに協力しあい新たな歴史を築いていく事を表現しました。
60		小学校、中学校ともにできるだけ既存の校章デザインにならないよう意識して作成しました。図案は子供の健やかな成長と嵐山町の永劫発展の象徴として天然記念物である大銀杏の葉をベースとして作成しました。小学校はもえぎ色のズボン型葉、中学校は緑色の手のひら型葉を配置しています。これには元気に飛び回る小学校時代と主体性が芽生え自らの手で何かを掴み取り始める中学校時代の象徴と子供の成長の意味を込めました。また、図案下部の扱いはアルファベットのLとRを表しております。そのLにはLean(強いて勉める勉強ではなく、自発的な学びの意味)とLove(博愛)、R(Ranzanの地)の意味を込めてデザインしております。将来活躍するであろう子どもたちが嵐山町の学びの場ですくすくと学び育つことを祈念しております。

61		<p>●嵐山町の町の木「梅」の花をベースにする事で、地域に守られ地域の未来を担う小・中学校を表わしています。●花びらの重なりに、子らの友達を思う心・感謝を忘れぬ心で切磋琢磨し勉学に励む学校の意味を込めています。●英字表記は、世界の広い知識で連携し次代を担う子らを象徴しています。●小学校章は、梅の花の真っ白で純粋な思いを子らの健康な成長に重ねています。●中学校章は、国蝶オオムラサキのカラーリングを取り入れて上級生の気品を織り込みました。</p>
62		<p>本校の校章デザイン案は、嵐山町の豊かな自然環境を象徴する武藏嵐山の山々と、町にゆかりが深く日本の国蝶であるオオムラサキをモチーフとしています。未来へ力強く羽ばたくオオムラサキの姿は、新しく生まれ変わる学校の希望、そして子どもたちの健やかな成長と躍進を象徴しています。また、二つの校章の図案を共通とすることで、新校名が示す小学校と中学校の強い連携と統一性を表現しました。その上で、小学校校章は地域との広がりを示す円形で構成し、中学校校章は自立心と規律を示す力強い六角形で構成することで、それぞれの学校で培われるべき教育理念を具体的に体現しています。</p>
63		<p>図案は嵐山町の『R』の字をモチーフに作成しました。デザインは既存の校章にならないようにかつ未来を感じができるようなイメージを意識しました。『R』の縦線にあたる斜めの線はペンや学びを象徴してあります。また、曲線は元気な子どもたちの躍動感の他、嵐山町ゆかりの人物である武藏武士(畠山氏)による文武両道の活躍を刀身の残像という形で表現しました。円は子どもたちが得た知識や経験を表しています。嵐山町の学びの場から心身健やかに得た宝を手に未来に飛び出し活躍してほしいという願いを込めております。</p>
64		<p>本デザインでは、嵐山町の町花であるツツジを小学校章に、嵐山町が生息地である国蝶のオオムラサキを中学校章に採用いたしました。ツツジには、学舎で健やかに育ち、能力が花開くことへの願いを込めています。一方、中学校章のオオムラサキには力強く羽ばたく姿に、自立し未来へ向かって成長していく中学生の姿を重ねて表現しました。また、小中学校が併設される点を考慮し、花と蝶が重なり合わずに繋がる構成でデザインしています。この繋がりは、花と蝶のように互いの存在があってこそ成り立つ学校生活を象徴しています。</p>

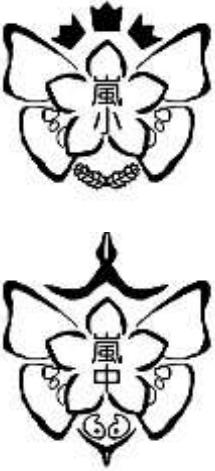
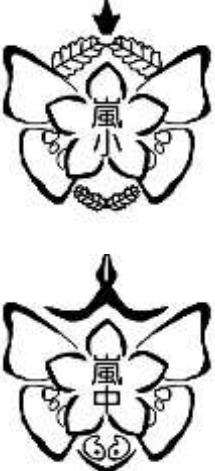
65		嵐山町の山並みを図案化し学生達の様々な可能性と方向性を表せるように多角形で表しました。ラベンダーの真っ直ぐに育つ様を図案化して取り入れました。
66		嵐山町の山並みを図案化し学生達の様々な可能性と方向性、向上心を表現しました。ラベンダーの真っ直ぐに育つ様を図案化して取り入れました。
67		嵐山町の木「梅」の花びらを小学校の校章に、生息地として有名な国蝶「オオムラサキ」の羽を図案化したものを中学校の校章の背景に配し、「嵐山」の文字を小、中の文字と組み合わせ、それぞれ一体感を示したものに武蔵の名称を組入れ、豊かな自然に育まれた学び舎で、伸びやかに成長する生徒の姿をイメージし、地域の人々からも親しまれるような校章に仕上げました。
68		嵐山の特徴であるラベンダーは、新しく出来る小、中学校に幸せをもたらしてくれることでしょう。デザインの構図の意味としては、ラベンダーで山を表現し小、中の文字で川の流れを表現し 嵐山町の自然豊かな要素を校章に取り入れてみました。そして、2つのデザインの違いとしてはラベンダーの数を増やすことで子供たちの成長を表現してみました。

69		<p>武蔵嵐山の「M」と「R」を組み合わせました。嵐山町の名所嵐山渓谷をイメージしています。深みのある青色と赤色を使用して、小学校から中学校へと深く学び成熟していく様子をあらわしました。</p> <p>清澄・さわやかな学び舎で児童生徒の成長を見守る教職員、保護者、地域の皆様の風通しの良さをベースに込めました。</p>
70		<p>シンボル全体は「嵐」の形をとり、校章として力強い印象を持たせています。その中に蝶を配置することで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変容(=学びを通した成長) ・多様性(=一人ひとりの個性) ・希望(=未来へ羽ばたく意志) <p>を象徴しました。</p> <p>厳しさと優しさ、力強さと美しさを一つに融合させ、学校が子どもたちを守り育てる場であることを表現しています。</p>
71		<p>まるで花のように見えるこの形は、実は「オオムラサキ」の羽です。羽化し、自由に空へ舞い上がる蝶の姿は、無限の可能性を秘めた子どもたちそのもの。やさしさと力強さを併せ持ち、どんな嵐にも負けずに羽ばたく未来を願ってデザインしました。</p>
72		<p>緑は山と生命力、紫はオオムラサキの美しさと知性を表します。中央の白い部分は、純粹な心と学びの原点を象徴しています。「嵐」を基礎に、山の恵みと蝶の羽ばたきが重なる構図は、すべての子どもが、自らの未来へ道を切り拓くという願いを込めています。</p>

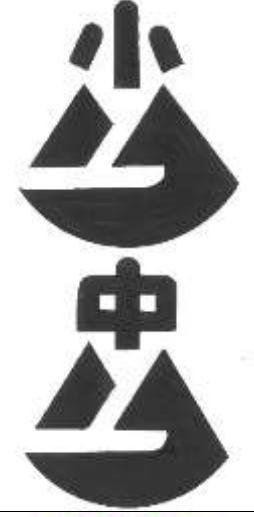
73		<p>●国蝶オオムラサキをモチーフに大地と青い空の恵まれた嵐山町の自然を背景にしています。●美しい自然の地域に守られ地域の未来を担う小学校・中学校の意味を込めています。●優雅に舞い強く生きるオオムラサキに、友達を思う心・感謝を忘れぬ美しい心で勉学に励む姿を重ねています。●大空に向かって飛翔する美しい蝶に子らの成長を込めてデザインしています。●世界の広い知識で次代を担う子らへの思いから学校名を英字のフル表記としています。●小学校章・中学校章は基本デザインと同じとし表記文字とカラーリングで分けています。</p>
74		<p>小学校と中学校が同じ敷地内でつながり、児童・生徒が成長していく様子を「国蝶オオムラサキ」で表現しています。小学校の小を表す左右の三角形の羽と、中学校の中を表す長方形の羽が、中央の身体を軸に一つの形となることで、「連続した学び」と「一体感」を象徴しています。また、小学校から中学校へとステップアップしていく様子をデザインにしました。紫色は嵐山町武蔵嵐山地区の象徴でもある国蝶オオムラサキをイメージし、“誇り”と“未来への広がり”を表現しています。</p>
75		<p>嵐山という名前から RN で嵐山と分かるようにしました。また、嵐山という名前と嵐山町の自然豊かさが表現できるよう に三角形で山を表現し、緑を使用しました。右にある紫色は三角形を組み合わせて嵐山町に生息するオオムラサキという蝶を表現して嵐山町ならではの校章を作成しました。</p>
76		<p>嵐山町の頭文字のローマ字「R」をモチーフに長方形で構成したシンプルな形に仕上げました。長方形でまっすぐ揺らぎのない形は、子どもたちの成長姿などを表しました。嵐山町のイメージを大切に“山”的色で緑を基調にし、地域らしさも表現しました。小学校、中学校両方で同じ形を使いながらも色を変えることで個性を持って成長していく姿をイメージしました。</p>

77		<p>嵐山町で有名なラベンダーをメインに構成しました。細かくすると校章バッジにした時にわかりにくいため、ぱっと見ただけで分かりやすい簡易的なデザインにしました。また、有名なオオムラサキを描き、小学校のデザインでは止まっていた蝶を中学校のデザインでは羽ばたかせる事で、成長し羽ばたいて欲しいという気持ちを表現し、嵐山町ならではのデザインにこだわりました。</p>
78		<p>嵐山町のマスコットであるむさし嵐丸の元であるオオムラサキをベースに、太陽とラベンダーを追加して校章を作りました。できるだけ派手ではなく、かつ個性的な校章にしました。</p>
79		<p>歴史ある令制下での武藏国が校名にあることから、厳格さを前面に出したデザインとしました。秋に嵐山渓谷を彩る紅葉を大きく配し、嵐山町の豊かな自然を表現しました。小学校校章には愛着をもてるよう柔らかな字体の「小」の漢字を、中学校校章には一歩大人へと近づいた証として厳格さを含めた字体の「中」の漢字を紅葉の中に置きました。紅葉の左右には、校名からとった「武・嵐(むらん)」を配置し、一目で武藏嵐山小中学校であることが認識できるようにしました。</p>
80		<p>歴史ある令制下での武藏国が校名にあることから、「和」を意識するデザインとしました。嵐山渓谷にて可憐な白花を咲かせるユキヤナギを左右に配し、嵐山町の豊かな自然を表現しました。嵐山町立の小学校・中学校であることから、中央には「嵐」の漢字を大きく置きました。小学校校章には愛着をもてるよう柔らかな字体の「小」の漢字を、中学校校章には一歩大人へと近づいた証として厳格さを含めた字体の「中」の漢字を置きました。全体として、生徒一人一人がユキヤナギのように咲き誇り、自然に囲まれながらのびのびと活発に成長できる環境を意識して描きました。</p>

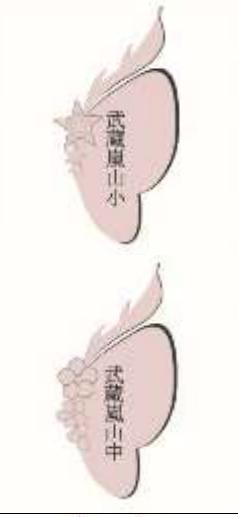
81		歴史ある令制下での武蔵国の名が校名にあることから、全体として「和」を基調とするデザインとしました。嵐山渓谷にて可憐な白花を咲かせるユキヤナギ、秋に渓谷を彩る紅葉を大きく配し、嵐山町の豊かな自然を表現しました。小学校校章には愛着をもてるよう柔らかな字体の「小」の漢字を、中学校校章には一歩大人へと近づいた証として厳格さを含めた字体の「中」の漢字を置きました。視認性を高めるための外枠には扇形の図形を選びこれは嵐山渓谷の景観を図式化したものです。扇の形には「発展」の意味があり、また嵐山金泉寺の大イチョウをも表しています。小中両校の校章を合わせると翼に見えるようにもなっており、ここから「自由」と「成長」の意を込めました。
82		学校名の「武」「嵐」と町の花「ツツジ」をモチーフにしてシンプルにシンボライズ。小学校は緑色、中学校は紺色に色分けしました。
83		上下に「ラン山」を配置山は木々を入れランは川をイメージしてデザインしています。中央にはオオムラサキ蝶とカワセミをモチーフに小、中を象形化。嵐山町の自然豊かな環境で自然と共に育つて欲しいとの思いを形にしました。
84		嵐山の文字をひし形の中にデザイン化しました。その中に、小学校の「小」と中学校の「中」を入れています。小学校はオレンジ色ときみどり色、中学校は濃いオレンジ色と緑色、また、小学校のひし形は、角を丸くしています。山の先が天に向かって未来に向かって飛躍・発展を表しています。

85		<p>校章のベースは嵐山町のシンボルであるオオムラサキと嵐山町の花であるツツジにしました。学生たちが将来に向かって羽ばたいていく姿をオオムラサキで表現しました。ツツジの花言葉は節度、努力などがあり、校章にしたいと思いました。そして小学校中学校を通した9年間で自分の花を咲かせられる学舎になって欲しいという願いを込めました。小学校は統合する七郷小、志賀小、菅谷小の校章を意識して、中学校は統合する玉ノ岡中、菅谷中の校章を意識してデザインしました。新しい学校も地元の人たちに愛される学校であって欲しいと思い元のデザインを意識してデザインしました。</p>
86		<p>校章のベースは嵐山町のシンボルであるオオムラサキと嵐山町の花であるツツジにしました。学生たちが将来に向かって羽ばたいていく姿をオオムラサキで表現しました。ツツジの花言葉は節度、努力などがあり、校章にしたいと思いました。そして小学校中学校を通した9年間で自分の花を咲かせられる学舎になって欲しいという願いを込めました。小学校は統合する七郷小、志賀小、菅谷小の校章を意識して、中学校は統合する玉ノ岡中、菅谷中の校章を意識してデザインしました。新しい学校も地元の人たちに愛される学校であって欲しいと思い元のデザインを意識してデザインしました。</p>
87		<p>嵐山町の豊かな自然を象徴する、国蝶オオムラサキをモチーフとして、嵐山町のイニシャル「R」を掛け合わせたデザイン。小学校と中学校の違いは「小」、「中」をデザインした羽の斑点模様で表している。色はオオムラサキの青紫色を採用。未来へはばたく子供たちを象徴するデザインとなっている。</p>
88		<p>学校で児童や生徒が健やかに、伸びやかに過ごす様子を、嵐山町のシンボルである「オオムラサキ」が羽ばたく姿に重ね合わせて表現しました。 小学校の校章には「芽生え」をイメージした「若葉」の図案を、中学校には「希望」をキーワードとした「光」のモチーフをそれぞれ配置しました。</p>

89		<p>小学校校章案は、太陽に向かって咲くラベンダーの花輪をイメージしています。自然の中で伸び伸びと学び、それぞれの花を咲かせてほしいという思いです。花輪にしたのは、みんなで手を取り合い、助け合い補い合いの心も育ててほしいからです。中学校校章案は、ラベンダーの花輪から飛び立っていくオオムラサキをイメージしています。小学校、中学校と成長して、世界へと優雅に飛び立っていってほしいという思いです。</p>
90		<p>統合は寂しくもありますが嵐山町唯一の学校になると言う事で嵐山の文字を入れました。嵐の文字から形をとっており下のマークで全体的に嵐山の漢字をイメージしました。横のものは嵐山町を象徴するラベンダーになっており、小中一貫校という事で9つ(9年)穂をつけています。下の∞マークは、蝶のオオムラサキ、学生の本分ある本、そして・ここでの経験がこれから的人生にも繋がっていく、・卒業後も学び続ける姿勢、・友達、地域との繋がりがずっと続していく願いを込めています。</p>
91		<p>楓川に鏡写しになる 嵐山渓谷の美しい紅葉をイメージした校章で、子供たちに友達や家族、先生と共に生き生きと育ち、時に自分を見つめて成長して欲しいという願いを込めた校章です。 小学校は青く、中学校は紅く、子供たちの成長に合わせて校章も成長していくデザインです。</p>
92		<p>嵐のイニシャル「R・シラコバト」をモチーフに図案化し、嵐山渓谷をはじめ、清流と紅葉が美しい変化に富んだ豊かな大自然!4ツ葉のクローバーをアレンジし、四季折々に咲く美しい花々と人々の幸福感を表わし、地域の人々から愛され親しまれ、希望と活力に満ちあふれ、輝く未来の大きな目標目指し力強く羽ばたく鳥をイメージに「小・中学校」を表現しました。</p>

93	 <p>武藏嵐山小学校</p>  <p>武藏嵐山中学校</p>	<p>嵐のイニシャル「R・シラコバト」をモチーフに図案化し、嵐山渓谷をはじめ、清流と紅葉が美しい変化に富んだ豊かな大自然!4 ツ葉のクローバーをアレンジし、四季折々に咲く美しい花々と人々の幸福感を表わし、地域の人々から愛され親しまれ、希望と活力に満ちあふれ、輝く未来の大きな目標目指し力強く羽ばたく鳥をイメージに「小・中学校」を表現しました。</p>
94		<p>嵐山町立武藏嵐山小学校・武藏嵐山中学校の「ラ」と武藏山の「M」を、未来へ大きく羽ばたく生徒の姿を象徴。</p>
95		<p>嵐山町立武藏嵐山小学校・武藏嵐山中学校の「ラ」と武藏山の「M」を高い志を目指す生徒たちの山並を象徴。</p>
96	 	<p>子供たちが手をつなぎ合い大きな花を形作っているようなデザインを周囲に描きその中に町の花ツツジを描きました。嵐山の文字の背後に嵐山渓谷を流れる楓川をイメージデザインを配置しました。楓川は同時に希望の象徴虹に見えるようにも描きました。小学校は新緑の緑色を基調に、中学校は町の蝶オオムラサキの羽の色を基調としました。</p>

97		子供たちが手を広げ花が開いた形になるように手をつなぎ合っているイメージのデザインを周囲に描きました。その中に町の花ツツジを描きました。更に嵐山渓谷を流れる槻川が希望の象徴虹にも見えるように、嵐山の文字と重なるように描きました。小学校は新緑の緑を基調に中学校は町の蝶でもあるオオムラサキの色を基調に色付けしました。
98		本作は、嵐山町の美しい紅葉を象徴としたデザインになっており、周りの模様は水面に浮かぶ紅葉の波紋のように美しく仕上げました。 学校をきっかけにすくすくと育つ生徒さんも広がる波紋のように様々な方向へ美しく広がってほしいです。
99		中学校は盾をイメージし病気にならないように盾でガードして健康に生きてほしいという意味を込めました。 小学校は特産品のぶどうをイメージして書きました。みんなで力を合わせて大きなものをつくるといういみをこめました。
100		○武蔵の【ム】嵐山の【ラ】山と川と桜で構成したデザインです。嵐山町の風景をイメージしました。 ○【ラ】を翼に見立てました。生徒たちが、たくさんの夢と希望を抱いて、輝かしい未来へ大きく羽ばたいてほしいという願いを込めました。 ○校名が外国人の人たちにも分かるようにローマ字を入れました。

101		<p>嵐山渓谷を背景に大き使い嵐山町に自然の雰囲気に合うデザインにしました。 今までの雰囲気にはないような新しい雰囲気の交渉を提案します。</p>
102		<p>子供たちが手を広げ花が開いた形になるように手をつなぎ合っているイメージのデザインを周囲に描きました。その中に町の花ツツジを描きました。更にツツジの背後に嵐山渓谷を流れる槻川が希望の象徴虹に見えるように描きました。小学校は新緑の緑を基調に中学校は町の蝶でもあるオオムラサキの色を基調に色付けしました。</p>
103		<p>町のシンボルでもある「オオムラサキ」を主なモチーフとしています。小学校は子どもたちの未来を明るく照らす「星」、中学校は照らされた未来に向けて成長し、花開くという意味で「花」を選びました。上の3つ角が生えているモチーフは、上に向かってぐんぐん伸びていく植物や嵐山町の「山」をイメージしています。</p>
104		<p>この校章は、嵐山町で親しまれている特産品「ブルーベリー」をモチーフとしてデザインしました。ブルーベリーが持つ「実りある人生」「知性」「信頼」「思いやり」といった花言葉を、子どもたちの成長に重ねています。地域に根ざし、豊かに実を結ぶブルーベリーの姿を通して、ここで学ぶ子どもたちが互いに尊重し、学び合いながら未来へ伸びていく姿を表現しました。この校章は、小学校で培った学びや姿勢をそのまま中学校へ受け継ぐという思いから、小学校校章の構成を大きく踏襲しています。共通するブルーベリーのモチーフには、地域のつながりと、成長を支える確かな土台を表しています。さらに、中学校的校章では、嵐山町を象徴する「オオムラサキ」新たな要素として取り入れました。ブルーベリーの葉の形を活かしながら羽ばたく姿を重ねることで、小学校で得た学びを糧に、より広い世界へ飛び立とうとする中学生の未来を表現しています。</p>

105		<p>欅の葉をモチーフにし、「小」「中」の文字自体を葉のシルエットのような形にデザインしました。文字が寄り添い、支え合う構図にすることにより、3校が一つにつながり、互いに手を取り合いながら大きな絆を築いていく姿を表現しています。文字の形そのものに思いを込めた校章です。色味は、欅の葉の緑で小学校ははつらつという意味を込め明るめの緑、中学校は自立するという思いを込め、深めの緑にしました。セットで一つの葉になるように設計。小学校では芽生え、中学校は成長の段階を表し、合わせることで“学びの成長”を象徴する欅の葉が完成します。</p>
106		<p>武士の鑑として賞賛された畠山重忠のように、子供たちに、文武に優れた誠実な人物を目指して新たな学び舎で学校生活を送ってもらいたく思い、畠山氏の家紋を象徴とした。また、五三桐から伸びる円は、重忠ゆかりの地に町内の小学校3校、中学校2校が集ったことを意味している。</p>
107		<p>武士の鑑として賞賛された畠山重忠のように、子供たちに、文武に優れた誠実な人物を目指して新たな学び舎で学校生活を送ってもらいたく思い、畠山氏の家紋を象徴とした。また、五三桐から伸びる円は、重忠ゆかりの地に町内の小学校3校、中学校2校が集ったことを意味している。背景に「武蔵嵐山」を入れ、新たな学校であることを強調し、家紋感を和らげた。</p>
108		<p>「嵐山」という文字の中に、小学校の「小」、中学校の「中」を入れ、子ども達が未来に羽ばたくという意味を込めて、嵐山町で有名なラベンダーを羽に見立てました。</p>

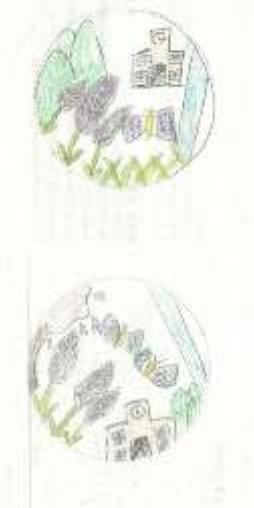
109		<p>武蔵嵐山町の町蝶である「オオムラサキ」を中心に据え、町を象徴する自然と未来へ羽ばたく子どもたちの姿を重ね合わせた校章です。オオムラサキの翼は、伸びやかさと成長を表す曲線で構成し、中央に最も視線が集まるよう配置しています。下部モチーフは学校ごとに変え、中学校では比企丘陵のなだらかな山並みを、小学校では町を流れる櫻川を表し、地域に根ざす学びを表現しました。外形は中学校を六角形、小学校を円形とし、それぞれ「規律と調和」「調和とつながり」を象徴しています。色は中学校を紺、小学校を緑とし、共通して金をアクセントに使用することで、品格と統一感を持たせました。</p>
110		<p>町花であるヤマザクラと町鳥のウグイスをモチーフに据え、嵐山町の豊かな自然の中で子どもたちが未来へ羽ばたく姿を描きました。小学校には"芽生え"を象徴する緑色、中学校には"知性と品格"を象徴する紺色を配し、二校の連続性と児童生徒の成長を表現しています。</p>
111		<p>小学校、中学校の校章のベースは嵐山町のシンボルである「オオムラサキ」を使用し、特徴の一つである紫色を使っております。また学生たちが将来に向かって羽ばたいていく姿をオオムラサキで表現しています。小学校は川の流れ(嵐山渓谷)をイメージしており、岩畳が美しい櫻川の清流と、紅葉などの美しい自然が広がるところで小学6年間で広く学んでほしいという想いを込めています。中学校は小学校からオオムラサキが羽ばたいている表現で、周りを嵐山町の花である「ツツジ」で囲っています。ツツジの花言葉は節度、努力などがあり、更に成長してほしいという想いを込めています。そして最後にどちらの校章も周囲を囲む盾形は、島山重忠をはじめとする鎌倉武士の精神が今なお息づく本地域の伝統を表すとともに、「自らを律し、仲間を思いやり、地域を大切にする心」を象徴しています。また盾は学ぶ者を守り育てる学校の役割を示し、未来に向かって力強く歩む子どもたちを守護する願いも込められています。</p>
112		<p>小学校の校章は、嵐山町の木である梅の花をデザイン化。オシベの数を、学年の数(1年生から6年生まで)と同じ6つにし、それぞれの学年・生徒を表現しました。中学校の校章は、嵐山町の花であるツツジの花をデザイン化。オシベの数を、学年の数(1年生から3年生まで)と同じ3つにし、それぞれの学年・生徒を表現しました。小中共通で、嵐から繋がり周りを囲む丸が「山」という字を表現しています。</p>

113		<p>小学校の校章は、子供達の優しさと成長の芽生えを表す『ラベンダーの花』をモチーフにしています。落ち着いた花のフォルムは、学生生活の安心感と、学びの基礎が育まれる時期を象徴しています。中学校の校章では、嵐山町を象徴する『豊かな水辺の自然』と『明るい太陽』をモチーフにしています。円形の中に力強く広がる放射と波紋を組み込んでいます。これは、地域の自然に守られながら新たな道を広げ、未来へと歩んでいく中学生の成長を表現したものです。小学校で芽生えた力が中学校で大きく広がって行く流れを、二つの校章の対比としてデザインに込めました。</p>
114		<p>小学校の校章は、嵐山町の木である梅の花をデザイン化。オシベの数を、学年の数(1年生から6年生まで)と同じ6つにし、それぞれの学年・生徒を表現しました。中学校の校章は、嵐山町の花であるツツジの花をデザイン化。オシベの数を、学年の数(1年生から3年生まで)と同じ3つにし、それぞれの学年・生徒を表現しました。</p>
115		<p>嵐山町立武蔵嵐山小学校 この校章は、嵐山町の地にちなんだ町の花である「ツツジ」と、町のシンボルである国蝶の「オオムラサキ」を組み合わせたものです。ツツジの花びらを蝶のように見立て、周りの3枚の葉は3校の統合を表しています。3校が統合することで、この嵐山町に誇りを持ち、情熱を持って健やかに成長し学ぶとともに、蝶のように未来へと羽ばたいて欲しいという思いが込められています。</p> <p>嵐山町立武蔵嵐山中学校 この校章は、嵐山町の地にちなんだ町の木である「梅」と、町のシンボルである国蝶の「オオムラサキ」を組み合わせたものです。梅の花びらを蝶のように見立てて、周りの2枚の葉は2校の統合を表しています。2校が統合することで、この嵐山町に誇りを持ち、物事を乗り越えていける忠実な心を持って学ぶとともに、蝶のように未来へと羽ばたいて欲しいという思いが込められています。</p>
116		<p>このデザインは、イチョウとモミジの葉を使用しました。これらの葉は、子どもたちが多様な知識や経験を通じて成長し、成熟していく過程を表現しています。イチョウの扇状の葉は、広がる可能性と知恵の蓄積を、モミジの鮮やかな赤い葉は、情熱と活力ある未来を表現しました。</p>

117		<p>○基本方針…「嵐山町が目指す子供像」のうち、特に「可能性に挑戦する」「知勇兼備の郷土の英雄に学ぶ」という内容に共感し、それらを基にデザインを進めました。○モチーフについて…小学生には「何だろう?」や「できるかな?」といった好奇心を大切にして自身の可能性を広げて欲しいと考え、ハテナマークをモチーフに採用しました。また小学校のデザインを引き継ぎつつ、中学生には自身の可能性を旗のように堂々と掲げ、信じ続けて欲しいと考え、旗をモチーフに採用しました。○形について…校名に含まれる「嵐山」から、小学校の校章は上下反転すると平仮名の「ら」に、中学校の校章は英字の"R"に見えるよう形をまとめました。○色について…「知」をイメージさせる青と「勇」をイメージさせる赤を採用することで、知勇兼備の郷土の英雄に学ぶ貴校の姿勢を表現しました。</p>
118		<p>まず、共通したデザインとして、嵐山町で有名な物をモチーフにしたいと思い、嵐山町はオオムラサキが生息する地として有名と言うことで、蝶々の形をしたデザインにしました。違いとしては、小学校の方は明るい紫で、子供達の元気で明るい様子を表現していて、中学校の方は濃い紫で、成長して大人になっていく様子を表現したデザインにしました。</p>
119		<p>M(武藏)と R(嵐山)をモチーフにオオムラサキと嵐山渓谷の流れを描き、児童・生徒が様々な夢や希望に向かって羽ばたく様子を表現。(蝶の斑紋は就学年数をあらわしています。)</p>
120		<p>オオムラサキが嵐山町の自然を包み込んでいるイメージで作成しました。包み込んでいるのは、武蔵嵐山と、嵐山渓谷。下部の黒い帯は、渓谷を穏やかに流れる川をイメージしています。嵐山町で学ぶ子ども達が嵐山町の自然とともに大きく成長していく事をイメージしてデザインしました。</p>

121		オオムラサキが嵐山町の自然を包み込んで未来へ羽ばたいしているイメージで作成しました。円の中には嵐山町の象徴、嵐山渓谷をイメージしています。嵐山町で学ぶ子どもたち達とともに未来へ大きく羽ばたいていく事を願って作成しました。
122		円の中は嵐山渓谷をイメージしてデザインしました。その周りをオオムラサキが楽しそうに飛び交い、嵐山町で学ぶ子どもたちの成長を見守っているイメージで作成しました。
123		嵐山町のシンボルであり、国蝶でもある「オオムラサキ」を「桜」の花弁で表現。蝶のように豊かな自然の中で、たくましく、未来に羽ばたく児童に育ってほしいという願いを込めています。また桜は日本を代表する花であり、入学・進級・卒業といった学校の始まりや終わりを象徴しています。さらに希少種としてのオオムラサキや気候変動による桜の開花への影響など、環境に対する感受性も養ってほしいという意味も込めています。そして1枚の花弁が小学校が三重、中学校で二重であるのは統合数を表し、小学校と中学校で文字や色が変わっているのは、心身の成長や躍進を表現しています。
124		嵐山渓谷の豊かな自然から差す光をこどもたちの明るい未来をイメージし、武藏のMにて作成。嵐山という文字は、豊かな自然のように均衡、共生をイメージし左右対称に見えるよう作成した。

125		<p>嵐山町のシンボルである*オオムラサキの羽*と*菅谷館跡の土台*を共通図案として、その中央に学校を象徴する「小」*または*「中」の文字を一体化させることで、*伝統の上に未来へ羽ばたく両校の強いつながり*を表現した校章デザイン案です。</p>
126		<p>たくましさを考えたので太めの文字をイメージしました。書体を探すと DC 愛シャドーWS が見つかりました。書体の名前の中に「愛」が入っている!びっくりです!しっかりと地に足をおろし未来を見つめて欲しいなと思い 全体をどっしりとした感じにまとめました。そして一目で学校の校章だとわかることも意識しました。それにこれなら遠くから見てもはっきりわかります。これからの方々が将来遠く世界のどこからでも見られて嵐山町小学校出身、嵐山中学校出身と意識されれば素晴らしいかな!と思います!</p>
127		<p>小学校の校章は、ラベンダーを交らさせて異学年との交流やいろんな事を体験し1つ1つを大切に6年間を過ごしてほしいという意味で考え、交わる所につなぐという意味でオオムラサキをデザインしました。中学校は小学校でたくさん学んだ事を1つにまとめ、仲間と共に大きな輪を作り1人1人を大切にしようという意味でデザインしました。中学校の校章は大人っぽくラベンダーのみです。</p>
128		<p>オオムラサキのちようをイメージしています。町の木の梅のななめ上の模様は、小学校3校と中学校2校がひとつになつたことを、梅の葉の葉脈のように表しました。また、小学校、中学校が1つになり、大空へはばたけるよう願いを込め、2つの校章が合わさるとオオムラサキのちようになるようにイメージして作りました。</p>

129		<p>この絵は、しぜんをテーマにかきました。小学校と中学校で、ラベンダー やオオムラサキのところをいつしょにして、しぜんを楽しい絵にしました。中学校は、さくらの木をかいて青春をかんじるかんじでかきました。</p>
130		<p>小学校、中学校、両方に嵐山町にゆかりのあるおおむらさきをイメージしました。とくに、小学校には、ラベンダーで囲むようなデザインにしました。</p>
131		<p>小学校のデザインは、嵐山町の学校が、合わさるのでそれぞれの学校の校章の一部をあわせてつくりました。中学校のデザインは、大きな葉っぱをイメージしています。嵐山は、紅葉がとてもきれいなのであえて葉っぱの色を黄色にしました。</p>
132		<p>左がわの部分は月をイメージしました。嵐山が星のようにかがやくことをねがってかきました。中学校のデザインは、こうえんをイメージしました。1人1人の個性をあらわすために、いろいろな色を使いました。</p>